

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）オオサカケイザイダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）フジワラゼミナール
大阪経済大学	経済学部	藤原ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）ツリー	フリガナ）マツゾエナナエ	3	無
Tree	松添菜々恵		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
Powerpoint2013

研究テーマ（発表タイトル）
Believe your choice ～同調効果の光と影～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

「赤信号みんなで渡れば怖くない」という言葉がある。大阪府警察本部交通部交通総務課のアンケートによれば信号無視をした人のうち6割以上が「周りの人が信号無視をしなければいけない」と答えた。周りの人に合わせた行動は他にも、人気の行列店に並ぶ行動や多数決など身近に溢れている。そんな周りに合わせた私たちの行動について研究していく。この同調効果は“みんながしているから大丈夫”という「理由なき集団のイジメ」や「津波などの災害時に車で非難し命を落とす」などの社会問題にもかかわる重要なテーマである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

ポーランド出身の心理学者ソロモン エリオット アッシュは、桜花を用意して3本棒の中から1本の棒と同じ長さの棒を選んでもらい同調効果が起こるのかを実験した。同調した被験者は、回答が誤りだと認識していながらも同一の回答をして同調してしまう。このことから同調には、他者の意見が大きな効果があることが証明されている。

3. 研究テーマの課題

アッシュの実験では同調効果が起こるということが証明されている。しかし、性別での違いや棒を使った問題以外では同調効果が起こることが証明されていない。私たちは、本当にアッシュの棒を使った実験で同調が起こるのかを実験するほか性別や問題の難

易度に分けたときに、どのような結果が起きるのかを明らかにする。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは以前アンケート方式で紙を使って同調効果が起こるのかを研究していた。しかし思った結果が出ず、「紙のアンケートは本当の同調ではない。」と考えた。そこで被験者には、“その場の空気を読んでもらう”ためにサクラ役を用意して紙のアンケートではなく、話し合いの場を設ける実験を行うことによって新たな研究を行った。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

“空気を読む”という環境を作るために「サクラを3人、被験者1人」が並んで質問に回答するという環境の下で実験を行う。同調効果は本当に起きるのかを確かめるだけでなく、アッシュの実験では証明されていなかった、男女混合・男性のみの場合・女性の場合という属性に分ける。さらに、1) 難易度が簡単な問題や難しい問題でどのように同調効果が表れるのか、2) 正解のある問題、正解のない問題で同調効果の表れ方に差異はあるのか、3) 実験後参加賞として渡す「うまい棒」の選択にも同調効果は表れるのか、を明らかにする。

6. 結果や今後の取り組み

アッシュと同様に棒の長さを問う問題では被験者の回答がサクラの言う不正解につられるという同調現象がはっきりと確認された。また、他の問題でも同様に同調効果が見られた。主に、今回の同調効果の実験によって、1) 被験者が自分の回答に自信の持てない難問において同調効果が強く働く、2) 被験者が男性よりも女性のほうが同調効果が強く働く 3) 正解のない問題に関しては同調効果が働きにくい、という結論が見られた。（11月29日時点での考察）。つまり、普段の生活の中でも周りに合わせて行動していることは実は多く、同調効果が社会問題を引き起こしているケースは多い。今後は、同調効果と社会問題を組み合わせることで経済にどのような影響を与えているのか調査していきたい。

7. 参考文献

- ・自転車利用者のみなさん信号を守ろう！大阪府警察本部交通部交通総務課自転車対策室
- ・「マンガでわかる行動経済学」サイエンスアイ新書
- ・「行動経済学入門」真壁昭夫著（ダイヤモンド社）
- ・「ココロの経済学」依田高典著（ちくま新書）
- ・被災者の心理に基づく津波避難シミュレーション
- ・NAVER まとめ 現役うまい棒人気ランキング <https://matome.naver.jp/odai/2139698253636144001>
- ・東日本震災津波の際の明暗を分けた避難事例から学ぶべきこと
http://www.bosai.go.jp/event/2012/img/.130225_05.pdf

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑